

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		水・食料・生活必需品の備蓄					所管	総務部 危機・災害対策課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	222	計画事業名	避難者対策の推進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 48 避難者・帰宅困難者対策と生活復興対策					[事業開始] 平成13年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]		災害対策基本法					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	災害時における被災者の生命の安全を確保するとともに人心の安定を図るため、平常時より食料・生活必需品・資器材等を備蓄する。								
	事業内容 [H30年度]	災害時、避難者に供給する災害対策用物資・資器材の購入と備蓄品関係業務委託 食料: 保存水、アルファ化米ごはん、とん汁、クラッカー、梅干し、粉ミルク等 衛生用品: ウエットティッシュ、排便袋 医療用品: 災害時用医療セット詰替								
	委託の有無	一部委託	委託内容		災害時用医療セット詰替、埋設トイレ保守点検、備蓄品移動					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
					目標値	実績	実績	実績	目標値 達成率	
	活動指標	災害対策用食料買入数		食	20,500	74,010	44,560	66,010	66,010 100.0%	
	成果指標	災害対策用備蓄食料数		食	364,480	359,217	364,480	364,480	359,217 101.5%	
	決算額 (単位: 千円)					H28年度		H29年度		H30年度
						50,512		25,965		46,119
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)				5,352		3,352		3,527
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				50,256		25,711		45,864
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				255		255		255
		総経費				55,863		29,318		49,646
財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				5,486		0		0	
	一般財源 (区負担額)				50,377		29,318		49,646	
課題及び今後の進め方	避難所敷地内で確保している備蓄倉庫は場所を移動したり面積を増やすことが難しいため、新たな資器材等を備蓄するにあたり、現在の備蓄品の保管スペースのスリム化や備蓄場所の検討が必要になる。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	災害時に備えた、食料・飲料水・生活用品・資器材等の備蓄は必要不可欠である。							
	効率性	3	価格と性能を検討し備蓄品を購入するなど、より一層効率的な備蓄に努めている。							
	手段の適切性	4	備蓄食料品等を、防災備蓄倉庫及び避難所へ備蓄し、適切に管理している。							
目的達成度	4	災害対策用の備蓄食料は目標を上回る数を備蓄するなど、災害時に備えて平常時からの備えを進めている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
アレルギー対応・ハラール対応の備蓄品の導入をはじめ、災害時に備えた食料や生活必需品の備蓄品入替を着実に進めた。近年発生した災害において顕在化した課題を踏まえた上で、今後も、多様化する区民ニーズに対応するため、地域の特性や社会状況に合わせた備蓄品の見直し、新規購入などを検討する必要がある。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		